

ボールを使ってストレッチ

7月26日、砂本町集会所で地域の皆さん20人が参加して、公会堂健康教室が開かれました。

はじめに健康と生活習慣について理解を深めた後、ボールを使ったストレッチ運動を実施。直径20センチほどの

ボールを利用して、どこでも手軽に行える運動などを体験し、楽しみながら汗を流しました。

参加した皆さんは、「家でも空いた時間を使って継続的に運動していきたい」と張り切っていました。



ヒルズボロから「コンニチハ」

袋井市の姉妹都市である米国ヒルズボロ市の学生訪問団が7月10日から17日にかけて袋井市を訪れました。

7泊8日の滞在期間中、日本の高校の授業を受けたり、ホストファミリー

と交流を楽しんだりした皆さんは着付けや茶道、華道にも挑戦。初めての体験でしたが、積極的に質問して日本の伝統文化を楽しみました。



涼しい木陰で読み聞かせ

7月27日、油山寺で「緑陰おはなし会」が行われました。
「緑陰おはなし会」は、毎年夏休みに油山寺や法多山、西楽寺の境内で行われています。

紙芝居や大きな絵本を使った読み聞かせのほか、クリップを付けた魚の絵を磁石で釣り上げる魚釣りなども行い、子どもたちは木陰の中で楽しいひとときを過ごしました。



海と親しむ「海辺の日」

7月29日、浅羽海岸で「袋井市海辺の日」が行われ、多くの家族連れでにぎわいました。海に親しむことで浅羽海岸の魅力を再発見するこのイベントは、旧浅羽町時代の「ふれあい海岸まつり」から数えて今年で12回目。楽しみながら海岸保全への意識も高まります。
会場では、砂浜綱引き大会や宝探しなどの催しのほか地引き綱も行われ、訪れた皆さんは夏の暑さも忘れて楽しんでいました。



地域交流プラザの説明会

7月26日、浅羽会館で新たなにぎわいと交流の拠点として整備する(仮称)地域交流プラザの住民説明会を行いました。
説明会では、市民ワークショップが

らの意見やアンケートの結果をはじめ、具体的な基本設計やイメージ図などをスクリーンで説明。参加した多くの皆さんは熱心に耳を傾け、活発に意見や質問をしていました。

